

意見交換会

平成 30 年 6 月 12 日(火)

午後 7 時～午後 8 時 30 分

やまなみ保育園

Q、認定こども園として、3 歳児で 1 号認定でも、4 歳児で 2 号認定に変更は可能か。

A、可能である。年度途中でも、逆が可能である。月途中に関しては、検討していく。

Q、平成 31 年 4 月スタート予定ということで、スピード感がある。今の保育士が両方の資格を持ち合わせていることや、施設の整備も必要がないということで費用もかからないことから、すぐできるということなのか。

A、四日市や明星のこども園は、保育園と幼稚園が対等合併のように認定こども園になった園は 1～2 年かけて進めているが、30 年 4 月に 2 歳児の未就園児の保護者の話を聞いてきたこともあり、平成 31 年 4 月を考えている。

Q、幼稚園の時間割ができるということか。

迎える時間が、14 時、16 時～18 時になるという考え方でいいのか。

A、迎える時間は別の保育室という考え方があるが、自然と時間別に降園ができていくと視察から学んだ。

去年は、保護者目線の思いを聞かせていただいたが、少し目線をかえ、未就園児の保護者の方の思いを知ることができた。保護者の役員会でも話をさせていただく。

Q、1 号認定の子どもの迎えを別の保育室ですということだが、橋北こども園の人数とよく似ているので、対応例を教えてください。

A、2 時前にみんなが集まり会をし、1 号認定のお子さんは別の部屋に行くなど、子どもたちに混乱はなく自然であった。

Q、子どもたちの不安を解消するために、人的配慮は考えているのか。

A、職員でしっかりと話し合い、子どもたちに不安感を抱かせないように保育する。

6 月 5 日に職員とも話をしている。どのような形でフォローしていくか、しっかりと考え、安心して運営していけるように考えていく。

Q、幼稚園の機能を加えるということで、入園可能な人数はかわるのか。

A、例えば、3 歳児は 20 対 1 の対応なので、今、8 人、あと 12 名は受け入れが可能。

4 歳児は 30 対 1 の対応なので、今、半数ほどなので、15 名ほどは入園可能。

Q、去年も意見を言ったが、準備が整えば反対ではない。保護者は心配されている方が多かったが、デメリットにあるように、今も保護者の迎えの時間のずれはある。メリットを説明することで不安の解消になっていくのでないか。

Q、別の部屋の対応をすることは、保育士の配置のベースは配置基準のままプラス1ということなのか。

その保育士を増やすより、乳児クラスの保育士配置を増やし、入園できる人数を増やしてもいいのではないかと疑問に思う。

また、行事等がうまく決まっていけば、うまくすすんでいくのでないか。

A、配置の規定があり、クラス担任や加配保育士は配置しているが、今、フリー保育士の配置ができていない。保育士不足でスタートしていて、乳児の受け入れも増やせない状況である。認定こども園の保育士配置はこれから協議をしていく。

保護者、家庭、子どもの支援をしていきたい。

Q、松阪市のホームページにH25 幼稚園整備計画がアップされている。その基準に幼稚園の休園のことが記載されている。飯高地域は中学校が合併され、小学校の給食の問題もあり、認定こども園になって、休園や廃園等、これからどうなるか不安である。

A、休園や廃園ということではない。飯高地域は今、やまなみ保育園、一つしかない状況である。それを無くすことはない。逆に認定こども園ができれば、移住者もあるかもしれない。

Q、「地域における子育て支援」とはどんなことか。

A、今も園庭開放等支援をしている。

今あるいいところは保っていく。保育所保育指針が改訂され、地域支援がうたわれている。保育園の子ども、地域の子どもの別で考えるのでないということを改めて提案した。